

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新居浜市立金栄小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0035

E-mail keie-ad@esnet.ed.jp

Website http://kinei-e.esnet.ed.jp/cms/

幼児児童生徒数 男子 207 名 女子 188 名 合計 395 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校では名称を、「金栄いきいきプロジェクト」～地域の方との交流活動を通して～とし、3年生は「わたしたちのまち金栄(地域など)」、4年生は「やさしいまち金栄(環境・福祉など)」、5年生は「環境・防災について考えよう(防災・環境など)」、6年生は「平和・校区の歴史・生命について考えよう(生命・伝統文化など)」をテーマに学習に取り組んでいる。

(ねらい)

- ・ 金栄校区の伝統文化や歴史を地域の方から学び、体験することを通して、子どもたちの探求心やあたたかい人間性を育む。
- ・ 地域の伝統文化の継承への関心を広げ、コミュニケーション力や共感力、グローバル社会で生きていくための多様性を育み、地域に伝わる伝統文化の継承についての意欲や態度を養う。
具体的には、①歴史文化探究活動、②地域防災に係わる学習を行った。

① 歴史文化探究活動

- ・ 金栄校区の伝統文化や歴史を地域の方から学び、体験することを通して、子どもたちの探求心やあたたかい人間性を育む。
- ・ 地域の伝統文化の継承への関心を広げ、コミュニケーション力や共感力、グローバル社会で生きていくための多様性を育み、地域に伝わる伝統文化の継承についての意欲や態度を養う。

② 地域防災に係わる教育

- ・ 自分たちが住む地域がどのような災害の危機に直面しているかについて、認識をもつとともに、災害時の諸問題について理解する。
- ・ 地域の方々と共に地域防災に取り組む中で、地域との関わり合いを深め、地域への帰属感や連帯感を育む。
- ・ 地域防災訓練時の防災体験、引き渡し活動、防災マップなどの体験活動を通して、地域全体で防災力を向上させることの大切さを学ぶとともに、自らが地域貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付ける。



① 歴史巡検



② 地域防災訓練



(2) 活動の詳細

【3年・6年 歴史文化探究活動】

(活動の実際)

- ・ 3年「わたしたちのまち金栄」
 - ア 「トンカカさん踊り」の歴史を保存会の方々から学び、伝統文化の継承への意欲を高める。
 - イ 「トンカカさん踊り」を保存会の方々から教えていただき、練習をする。
 - ウ 保存会の方々から教えていただいた「トンカカさん踊り」を運動会で披露する。
 - エ 「トンカカさん踊り」について振り返り、学習のまとめをする。

- ・ 6年「校区の歴史について考えよう」
- ア 地域の案内ボランティアの方から、地域の歴史について聞き取とる。
- イ 地域の史跡や神社仏閣を巡り、地域の歴史を知る。
- ウ 新聞に書いて発表する。
- エ 5年生に引継ぎをする。

【5年 地域防災学習「防災マップ作り」】

(活動の実際)

- ・ 地域防災学習「自分の命は自分で守る」
- ア 自分たちの住む地域が直面する災害の危機について知る。
- イ 地域の方と防災マップづくりをする。
- ウ 地域防災まちあるきの計画を立てる。
- オ 地域防災まちあるきをする。
- カ 防災マップを仕上げていく。
- キ 校区防災訓練などに積極的に参加して、災害に強いまちづくりに協力する。
- ク 学習したことを広げる。(他の学校との交流活動など)

3 成果と課題

金栄校区は、公民館活動などの地域住民の交流が盛んに行われている校区である。しかし、伝統文化や文化遺産などを次の世代の若者に伝えていくことや高齢化などによる後継者の減少などが課題となっている。今回の取組では、世代を超えて、地域のつながりを強めることができ、短期間ながらも交流の時間をとることができた。また、ふるさと新居浜の歴史にふれることで、新居浜の歴史に興味をもつ児童が増え、ふるさとの文化遺産を守っていこうとする態度が育ったのではないかと思われる。また、校区防災訓練では、地域の人たちに支援していただき実際に防災食を試食したり、避難所体験の模擬体験を取り入れたりして、体験的に防災学習を行うことができた。今後も持続可能なつながりを求めて主体的な取組を進めていき、ESD活動の活性化を図るとともに、創意工夫を生かした温もりのある実践にしていきたい。

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度

<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<p>・新居浜市ホームページ（防災）・新居浜市防災マップ・福祉関係全般に関する書籍（手話入門）・防災に関する書籍（災害ボランティア入門）</p>
--

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>ESD カレンダーを作成し、その計画に沿って総合的な学習の時間に取り組みを行っている。今年度は、年間計画の見直しを行い、取組内容の改善が必要である。また、持続可能な開発目標についての指導内容の位置づけなども考えていく必要がある。</p>

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

<p>学校と公民館が共催で防災訓練を地域ぐるみで行っている。校区防災訓練では、地域の人たちに支援していただき実際に防災食を試食したり、避難所体験の模擬体験を取り入れたりして、体験的に防災学習を行うことができた。今後も持続可能なつながりを求めて主体的な取組を進めていき、ESD活動の活性化を図るとともに、創意工夫を生かした温もりのある実践にしていきたい。</p>
--

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

毎時間の自己評価を積み重ねる。また、学習の最後にはグループ発表など相互評価も行い、お互いの成長を確認する。また、教職員による評価を学期に1度行っている。ESDの取組は、体験的に学ぶことが多く主体的に学ぶことができている。しかし、マンネリ化した取組になっているので、創意工夫が必要である。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

ESD通信を家庭に配布している。また、学校のホームページや学校だよりなどで、取組の紹介をしている。学校だよりについては、公民館を通じて地域の見守りボランティアの方々にも配布している。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

・新居浜市消防本部より講師を招き、過去に起きた災害のことや危険場所について聞いたり、地域のボランティアの方と防災町歩きをしたりした。地域防災マップづくりでは、自分たちが住む地域がどのような災害の危機に直面しているかについて認識を深めるとともに、災害時の諸問題について学習を行っている。地域の方々と共に地域防災に取り組む中で、地域との関わり合いを深め、地域への帰属感や連帯感を育み、自らが地域貢献に主体的に取り組む姿勢が育ってきている。

⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

・岡山市立城東台小学校との交流を行った。交流の内容は、スカイプによる交流及び相互訪問を行った。今年度は、6年生が修学旅行で学んだことの発表会を行った。金栄小は広島で学んだ平和学習について発表を行った。岡山コンソーシアム（教育委員会）から視察に来ていただいた。
・名古屋で行われた全国ESDコンソーシアム活動報告会に参加し、ポスターセッションを行い、新居浜ESDコンソーシアム（金栄小学校）の取組の紹介をした。

⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

・地域防災訓練を行うことで、子どもたちの中に地域への帰属感や連帯感が生まれ、主体的に地域貢献に取り組む姿勢が育ってきている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

3年 学年テーマ「わたしたちのまち金栄」
・地域の仕事・地域の自然・地域の歴史
〈ねらい〉地域の仕事を調べることで、その仕事の内容や働いている人の願いを聞いたり、発見したりして、学んだことを伝えようとするができる。
4年 学年テーマ「やさしいまち金栄」
・点字・アイマスク・手話・電気・水道・ガス
〈ねらい〉障害のある人の思いや願いを理解し、これからの生活の中で生かしていこうとする。
5年 学年テーマ「環境・防災について考えよう」
・水質調査・防災新聞・紙芝居・防災マップ
〈ねらい〉防災に対する心構え、さらに環境を保全し、よりよい環境を創造していこうとする実践的な態度を養う。
6年 学年テーマ「平和・校区の歴史・生命について考えよう」
・地域の古墳・句碑・トンカカさん踊り・平和学習
〈ねらい〉地域に対する親しみと愛着を深め、自分の生き方を考えようとする。